

9月議会報告

「選択的夫婦別姓の導入へ、一日も早い民法改正を求める意見書」
を国に求める請願と、国への意見書を採択!!

世論が後押し。日本政府に国連が繰り返し勧告。党議員団が積極的な役割を果たす。

党議員団が賛成討論。
フォーラム伊丹、高塚議員も。
反対は新政会と創政会のみ



この請願は、新日本婦人の会伊丹支部から提出されましたが党議員団のみが紹介議員となりました。

伊丹市議会のルールでは、請願は紹介議員がいないと議会に上程されません。

この意味でも党議員団が請願採択に果たした役割は大きいといえます。

賛成討論(趣旨)

同姓の強制は、氏名権(憲法13条)、婚姻の自由(憲法24条)、法の下での平等(憲法14条)、両性の本質的平等(憲法24条2項)などの観点からみて人権侵害は明白。

国連女性差別撤廃委員会が選択的夫婦別姓を繰り返し勧告しているのは、女性差別だから。

選択的夫婦別姓や同性婚を実現することは、多様な家族を包摂する豊かな社会を実現することでもある。

選択的夫婦別姓制度は、夫婦別姓という選択肢を増やすだけの内容であり、

同姓を望む人の意志を阻害する要素はない。

日本共産党
伊丹市議員団
ニュース

伊丹市千番1-1
784-8114
(直通)

第434号
発行
2024年
11月27日

9月議会の主な議題は、昨年度の市政の評価(決算)を行うことでした。

2023年度の藤原市政の問題点を指摘し「決算に反対」(日本共産党議員団だけ)

主な反対理由

- ① 平和都市宣言をしながら、自衛隊へ18歳(未到達の人を含め)と22歳の「適齢者名簿(個人情報)」を電子データで提供
- ② 大阪・関西万博への協力と児童生徒を参加させることに協力
- ③ 政府のDX推進、マイナンバーカード利用促進政策に無批判に迎合

市民の要求実現に議会で奮闘

この1年で党議員団が要求が実現したもの

- ① 子どもの医療費18歳まで入院費無料に(通院費は中卒まで)
- ② 中学校給食費が無償に
- ③ 学校体育館の空調設備導入決定
- ④ 保育所増設
- ⑤ 不登校指導員の増員など



市民の生活向上・弱者に手が届く行政を要求(加柴議員の個人質問から)

1. 医療的ケア児を受け入れる体制作りと現状について

- ① 就学前施設や各学校における医療的ケア児の受け入れ体制とケアスタッフの配置状況は
- ② 放課後等デイサービスにおける医療的ケア児の受け入れ施設の現状と施設拡充への対策は
- ③ 家族の負担軽減の対策(レスパイト、送迎時の家族支援、訪問入浴)はどのようになっているか



2. 公共交通について

- ① 市営バスの利便性の向上にむけての対応は
- ② クロスセクター効果を評価し、必要な予算を確保すべきでは



3. 教職員の労働環境改善と安全衛生委員会の役割について

- ① 市立学校への安全衛生委員会の設置状況と委員会活動の役割は
- ② 教職員の職場環境とメンタルヘルスケアの状況は
- ④ 伊丹市立の学校における教職員の職員配置と欠員状況は



政府が進める自治体DXの問題点を指摘(決算反対討論)

国主導の「ガバメント・クラウド」の推進は、米国ソフト運用企業に国民の個人情報をゆだねることになるのでは? と問題点を指摘。



服部よしひろ かしば ふみ
090-9044-0925 090-5464-9733

日本共産党伊丹市議会議員団
<https://jcp-itami.org/>